

東海道五十三次 27 番目の宿場

2026(令和8)年6月25日
袋井市長定例記者会見資料
産業経済部 農政課

ヤンマーホールディングス株式会社と 「農地の未来を守る取組」に関する連携協定を締結 ～企業のチカラで、魅力ある農業へ～

- ◇このたび袋井市は、市内における農業従事者の確保、耕作地の維持並びに拡大を図るため、ヤンマーホールディングス株式会社と「農地の未来を守る取組」に関する連携協定を締結し、農業の生産性向上に向けたスマート農業技術の普及や離農対策等を推進します。
- ◇農業の担い手確保が困難である中、若者への魅力を創出するため、担い手農業者を確保すべく、米・茶・メロンやいちごなどの生産者と農地をマッチングしていきます。また、環境への負荷軽減を図るため、産学官連携により循環型農業モデルの構築を行います。

【概要】

1. 調印日：2026(令和8)年6月25日(木) 市長定例記者会見終了後
2. 協定先：ヤンマーホールディングス株式会社(所在地:大阪府大阪市北区茶屋町1番32号)
3. 出席者：▶ ヤンマーホールディングス株式会社 常務取締役 奥山 博史(おくやま ひろし)様
▶ ヤンマーネットワーク組織「ヤンマー・サステナブル・ファーム」
ネットワークマネジメントオフィス 部長 中野 年章(なかの としあき)様
事業企画管理部 部長 田中 健一(たなか けんいち)様
事業企画管理部 プロジェクト開発チーム 山本 久美子(やまもと くみこ)様
4. 協定内容
 - (1) 農地の利活用方法をはじめ、荒廃農地の再生や農地の大区画化に関すること
 - (2) 事業承継をはじめ、農地と担い手のマッチング・営農支援に関すること
 - (3) 経営の安定化や生産性の向上に資する技術の普及や支援に関すること
 - (4) 環境負荷低減に資する技術の普及や支援に関すること
 - (5) その他、「農地の未来を守る取組」の推進に関すること
5. 実施内容：農作業情報のデータ化、農機具の電動化、水管理システム導入など展示圃場の設置を行う。
 - (1) 先進的技術の普及 … 水田営農においては、乾田や湛水直播技術、水管理システムなどの技術の進歩に伴い作業の省力化が進んでいるが、普及していないことから、展示圃場を設置し周知することで、先進技術の普及を図る。
 - (2) 担い手の確保 … 新規就農者を確保するため、栽培技術の習得や先進的な技術の展示等を行い、魅力ある農業を発信し、若者をはじめ転職等の就農を促進する。
6. その他《ヤンマーホールディングスとの同様の協定締結実績》
 - ◇2026年4月 大阪府豊能町と包括的連携協定を締結〔各分野の地域課題〕
 - ◇2024年5月 滋賀県と地域活性化に向けた包括的連携協定を締結〔農業、エネルギー、スポーツほか〕
 - ◇2022年4月 宮城県と農業分野に関する包括連携協定締結〔農業〕